

外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議における
主な検討事項

1. 公立学校における外国人児童生徒等に対する指導体制の確保・充実、指導力の向上

(1) 指導体制の確保・充実

- ・集住地域、散在地域それぞれにおける支援の在り方（拠点校、初期集中支援（初期指導教室、プレクラス等）の在り方を含む）
- ・特別の教育課程の普及
- ・ICTの活用（多言語翻訳システム、遠隔教育等）

(2) 指導力の向上

- ・教員、支援員等の資質能力向上のための方策（養成・研修モデルプログラムの普及を含む）
- ・日本語能力の測定方法と指導への生かし方
- ・障害のある子供への対応
- ・教材の充実

2. 外国人児童生徒等の就学・進学機会の確保

- ・就学前段階の支援の在り方
- ・就学状況の把握に向けた方策
- ・就学促進のための制度的・運用的方策の在り方
- ・外国人生徒の高校進学促進の方策

3. 日本の生活や文化に関する教育、母語の指導、異文化理解や多文化共生の考え方に基づく教育の在り方

- ・地域資源の活用の在り方
- ・日本人児童生徒を含めた指導の在り方

4. 関係機関・支援団体・企業等との連携

- ・連携体制の構築に向けた方策
- ・保護者への対応における連携